カドカワ株式会社
2016年3月期 第２四半期決算

2015年11月12日

第２四半期決算サマリー

1. 2Q実績

前四半期（2015年4月~6月）対比で売上高は若干の増収、営業利益は増益となりました。
また、親会社株主に帰属する当期純利益も黒字回復となりました。

2. 通期予想

今回の決算発表に伴う、通期予想の修正はありません。

3. ポータル事業

プレミアム会員は当初計画どおり順調に増加しています。

4. 書籍IP事業

利益率の高い電子書籍が高成長しており、売上・利益の構造が大きく変化しています。
メディアミックスの再強化や新ジャンルの打ち出しで、紙書籍も復活基調にあります。

5. ライブ事業

2016年1月開催「闘会議2016」は規模を大幅に拡大。関連イベントなどもスタートしました。

6. 教育事業

2016年4月に通信制高等学校を開校の予定です。

1. 2Q実績（2015年7-9月）

単位：百万円

	2015年3月期 第1四半期 (2014年10月-12月)	2015年3月期 第2四半期 (2015年1月-3月)	2016年3月期 第1四半期 (2015年４月-６月)	2016年3月期 第2四半期 (2015年7月-9月)
売上高	49,715	50,851	46,906	47,020
営業利益	1,851	△460	1,145	2,359
経常利益	2,603	△131	1,648	2,554
親会社株主に帰属する当期純利益	26,078	△12,022	△220	2,134

・売上高は、前四半期（2015年4月~6月）対比で1億14百万円の増収。書籍IP事業、映像IP事業やポータル事業が増収となる一方、ゲーム事業が減収となった。
・営業利益は、書籍IP事業の利益回復やライブ事業のイベントの利益貢献、また、映像IP、ポータル事業も堅調に推移し増益。
・前四半期は、繰延税金資産取り崩しで法人税等が増加し赤字となったが、第２四半期の親会社株主に帰属する当期純利益は黒字回復。

1. 2Q実績（セグメント別売上高）

単位：百万円

	2015年3月期 第1四半期 (2014年10月-12月)	2015年3月期 第2四半期 (2015年1月-3月)	2016年3月期 第１四半期 (2015年４月-６月)	2016年3月期 第2四半期 (2015年7月-9月)
	売上高	売上高	売上高	売上高
連結合計	49,715	50,851	46,906	47,020
書籍ＩＰ事業	19,418	18,924	17,515	17,921
情報メディア事業	8,022	7,930	6,491	6,766
映像ＩＰ事業	8,239	7,627	5,794	7,104
ポータル事業	4,810	4,754	4,822	5,039
ライブ事業	492	699	1,329	1,307
モバイル事業	2,540	2,426	2,313	2,212
ゲーム事業	4,021	3,147	3,671	2,642
その他	3,447	6,172	6,058	4,799
消去・全社	△1,278	△830	△1,090	△774

書籍IP事業は、一般書（文芸単行本、ゲーム攻略本など）での減収はあったが、電子書籍のさらなる伸張やライトノベルの復調で増収となった。

映像IP事業は配給、パッケージ収入はほぼ横ばいながら、海外での版権販売などの権利収入が伸び売上が伸長。ゲーム事業は前四半期のようなヒットタイトルがなく減収。

1. 2Q実績（セグメント別営業利益）

単位：百万円

	2015年3月期 第1四半期 (2014年10月-12月)	2015年3月期 第2四半期 (2015年1月-3月)	2016年3月期 第１四半期 (2015年４月-６月)	2016年3月期 第2四半期 (2015年7月-9月)
	営業利益	営業利益	営業利益	営業利益
連結合計	1,851	△460	1,145	2,359
書籍ＩＰ事業	1,705	1,332	287	1,647
情報メディア事業	△437	△726	△615	△453
映像ＩＰ事業	817	169	259	382
ポータル事業	731	646	610	638
ライブ事業	△269	△189	△271	51
モバイル事業	987	768	956	873
ゲーム事業	240	△1,255	535	272
その他	△163	△162	136	26
消去・全社	△1,759	△1,043	△755	△1,080

書籍IP事業は、前四半期に貸倒引当金の積み増しで一時的に利益水準が落ちるも、今四半期は電子書籍の伸長及びメディアミックスでのヒット作もあり収益を回復。

情報メディア事業は、雑誌・ムック売上縮小やパートワーク企画の不振が収益に影響。

ライブ事業は、アニメロサマーライブの開催が利益貢献。

映像IP事業、ポータル事業は順調に推移。

2. 通期連結業績予想

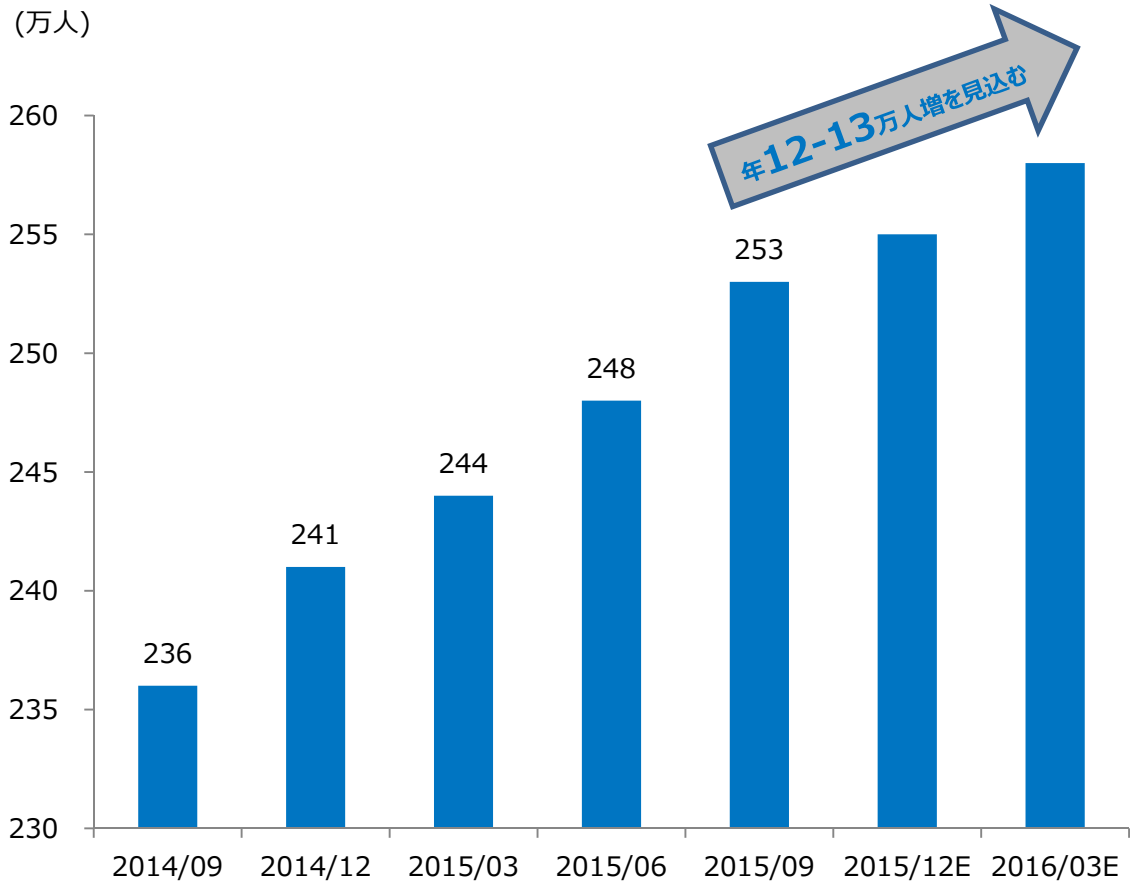
単位：百万円

	2015年3月期通期実績 (2014年10月-2015年3月)	2016年3月期上期実績 (2015年4月-2015年9月)	2016年3月期通期予想 (2015年4月-2016年3月)
売上高	100,566	93,926	200,500
営業利益	1,391	3,505	7,000
経常利益	2,472	4,203	6,800
親会社株主に帰属する当期純利益	14,055	1,914	4,000

今期実績は9月までの半年間、全体としては順調に推移しており、通期予想は当初計画を据え置き。

3. ポータル事業

プレミアム会員は順調に増加。

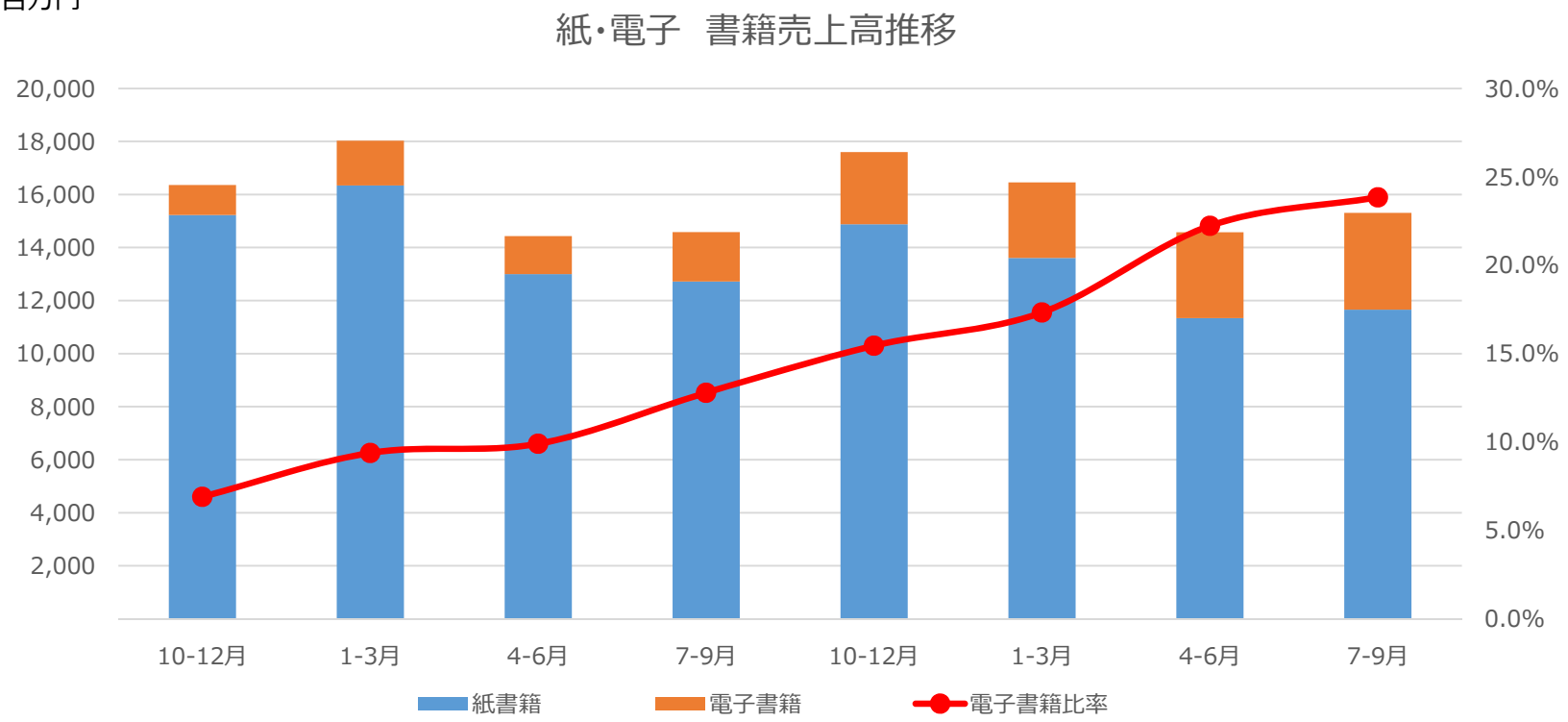


2015年9月末のプレミアム会員数は253万人、6月末比5.2万人増加。

4. 書籍IP事業　－紙+電子売上高四半期推移－

紙書籍の売上減少を電子書籍がカバー。電子書籍の売上比率が上昇。

単位：百万円



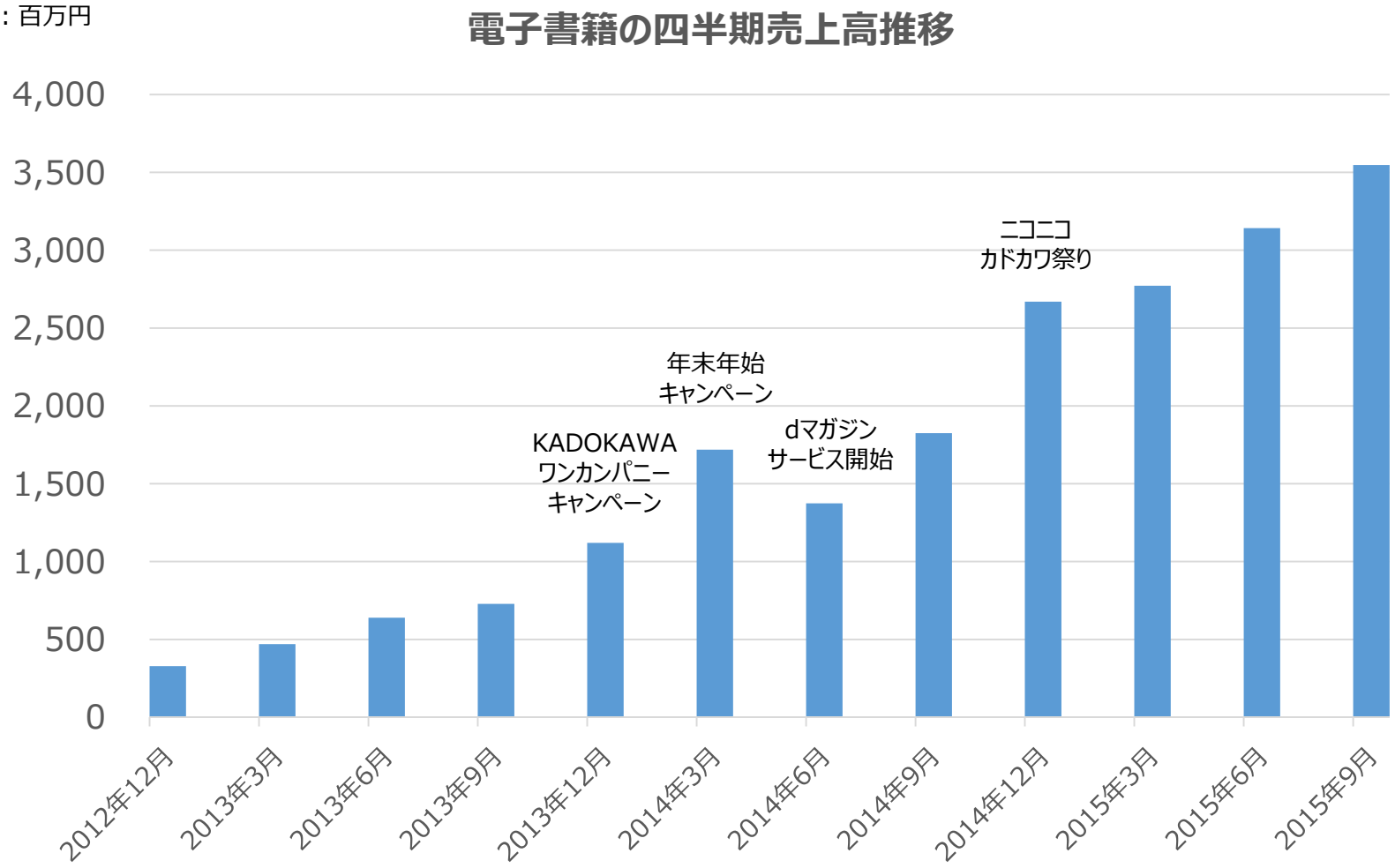
経営統合前の１年間
(2013年10月-2014年9月)
紙+電子　書籍売上高　634億円
電子書籍比率　9.6%

経営統合後の1年間
（2014年10月～2015年9月）
紙+電子　書籍売上高　639億円
電子書籍比率　19.5 %

4. 書籍IP事業 －電子書籍売上高の四半期売上推移－

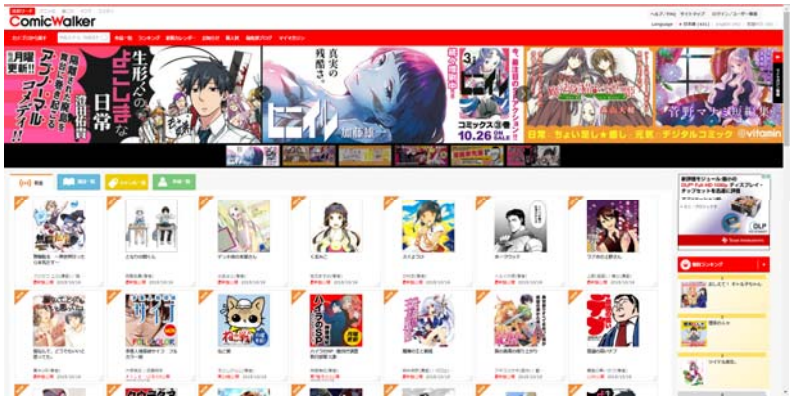
毎秋冬キャンペーンで電子書籍の売上は伸張、さらにdマガジンが売上高増に寄与

単位：百万円



4. 書籍IP事業 －ComicWalker－

Webコミックサービス「ComicWalker」の状況



サービス開始　2014年3月時点

	作品数	話数
日本語	152	325
英語	20	27
繁体字	22	31
合計	214	383

2015年9月時点

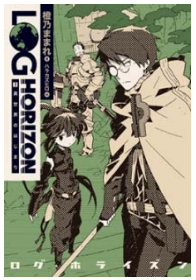
	作品数	話数
日本語	439	6,305
英語	46	273
繁体字	61	742
合計	546	7,320

サービス開始以降、順調に作品数、話数が増加。今後プロモーションサイトとしての機能も強化。

4. 書籍IP事業 －新ジャンルの展開－

ラノベに続く新たなジャンルとして「新文芸」を強化・展開

・「新文芸」は、ネット上で発表されたUGCを書籍・電子書籍化して出版する小説の総称。いわゆるネット小説やボカロ小説、フリーゲームの小説化などが「新文芸」。
・10月には新レーベル、「カドカワBOOKS」を立ち上げ、WEB発の才能の集結を図っていく。
・『オーバーロード』は2015年7月にテレビアニメ放映を開始。書籍累積部数は、アニメ放映前後で7.7倍に伸張。メディアミックスによる高い効果が見られた。



・株式会社はてなと共同で、誰でも自由なスタイルで物語を書ける、読める、新しい小説投稿サイトを今冬開設。

ライトノベルのように、新しい出版の成長領域「新文芸」でも強固なポジションを築く

5. ライブ事業 －闘会議－

闘会議は規模拡大。闘会議GP予選生放送番組の視聴者数も好調。

	2015	2016（計画）
日程	2日間 (1/31,2/1)	2日間 (1/30,31)
場所	幕張メッセ 4-7ホール	幕張メッセ 1-6ホール
リアル来場者	35,786人	65,000人
ネット来場者	5,746,338人	-

日時	闘会議GP予選の生放送番組名	視聴者数（人）
2015/9/13	闘会議GP九州地区大会 in 中央ふ頭イベントヤード メインステージ	43,747
	「Splatoon甲子園」九州地区大会 in 中央ふ頭イベントヤード【闘TV】	236,134
2015/9/19	【TGS2015】闘会議GP関東地区大会 ＋ ガンホー公式 パズドラ生放送（9/19）	491,822
2015/9/26	闘会議GP北海道地区大会 in つどーむ イベント広場【闘TV】	66,310
	「Splatoon甲子園」北海道地区大会 in つどーむ イベント広場【闘TV】	144,478
2015/10/11	闘会議GP東海地区大会 in 久屋大通公園【闘TV】	54,805
	「Splatoon甲子園」東海地区大会 in 久屋大通公園【闘TV】	205,113
2015/11/3	闘会議GP近畿地区大会 in グランフロント大阪 うめきた広場【闘TV】	64,542
	「Splatoon甲子園」近畿地区大会 in グランフロント大阪 うめきた広場【闘TV】	148,118
2015/11/15	闘会議GP東北地区大会 in イオンモール名取【闘TV】	-
	「Splatoon甲子園」東北地区大会 in イオンモール名取【闘TV】	-
2015/11/22	闘会議GP中国地区大会 in イオンモール広島祇園【闘TV】	-
	「Splatoon甲子園」中国地区大会 in イオンモール広島祇園【闘TV】	-
2015/12/13	闘会議GP四国地区大会 in イオンモール高松【闘TV】	-
	「Splatoon甲子園」四国地区大会 in イオンモール高松【闘TV】	-

6. 教育事業 －通信制高等学校－

ネットの高校「N高等学校」を2016年4月開校予定。

＜学校法人概要＞

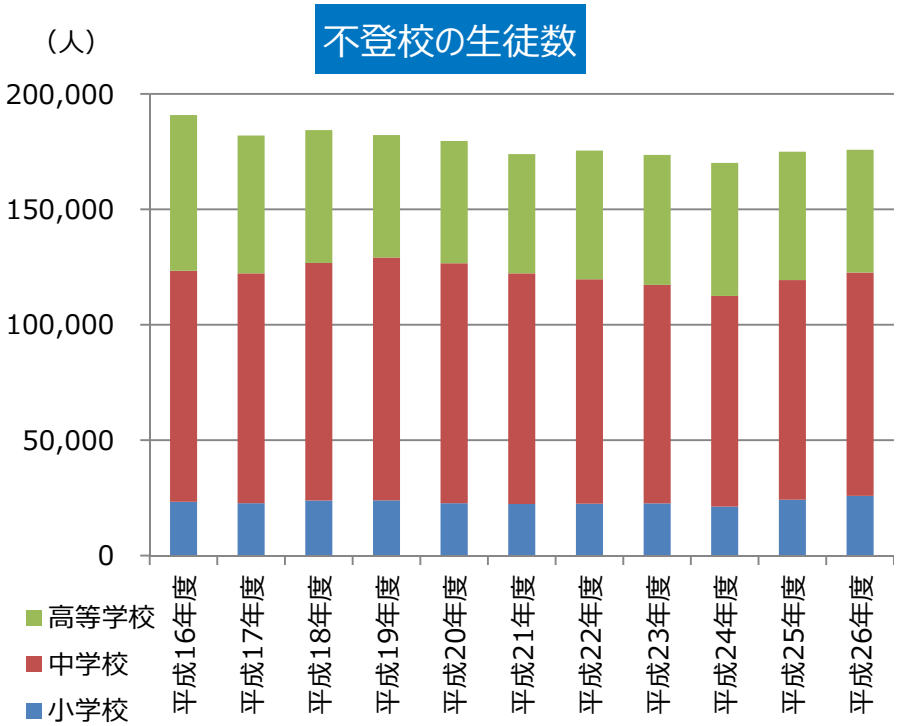
学校法人名　：学校法人角川ドワンゴ学園
高校名　：N高等学校
開校時期　：2016年4月予定　※設置認可申請中。
本校所在地　：〒904-2421 沖縄県うるま市与那城伊計224
※年5日間のスクーリングは、沖縄伊計本校、東京、大阪のいずれかで受講可能。
課程　：単位制・通信制課程（広域）
学科　：普通科
卒業資格　：高等学校 普通科
※N高等学校は学校教育法第1条に定められた高等学校です。全日制高校と同じ卒業資格を得ることができます。

＜特長＞

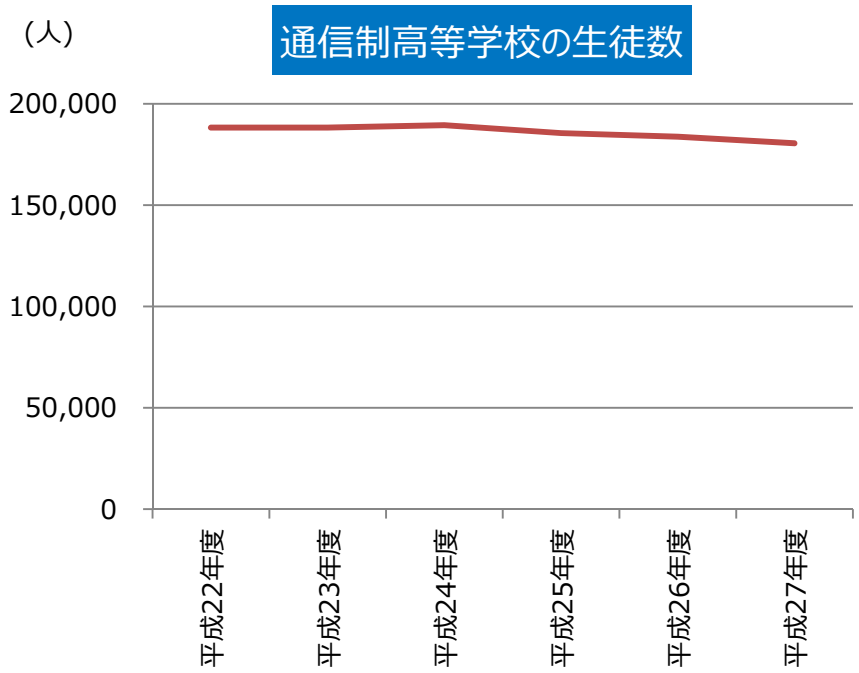
・授業やレポート提出をネットで行い、自分がやりたい勉強の時間が増える
・カドカワグループのリソースを活かした各業界のプロフェッショナルによる「課題授業」
・各地方自治体と連携して実施する「職業体験」
・リアルイベントで仲間と繋がることができる

6. 教育事業 －通信制高等学校－

不登校生徒数は高止まり。通信制高等学校の生徒数は約18万人。



(出所)
文部科学省（学校基本調査、児童生徒の問題行動等生徒指導上の諸問題に関する調査）



(出所)
文部科学省　学校基本調査

決算補足資料

決算サマリー

カドカワ

単位：百万円

	2015年3月期 第1四半期 (2014年10月-12月)	2015年3月期 第2四半期 (2015年1月-3月)	2016年3月期 第1四半期 (2015年４月-６月)	2016年3月期 第2四半期 (2015年7月-9月)
売上高	49,715	50,851	46,906	47,020
売上原価	35,314	37,367	33,107	32,892
売上総利益	14,400	13,483	13,799	14,127
販売管理費	12,548	13,944	12,653	11,768
営業利益	1,851	△460	1,145	2,359
経常利益	2,603	△131	1,648	2,554
親会社株主に帰属する 当期純利益	26,078	△12,022	△220	2,134

決算サマリー（セグメント別）

カドカワ

単位：百万円

	2015年3月期 第1四半期 (2014年10月-12月)		2015年3月期 第2四半期 (2015年1月-3月)		2016年3月期 第１四半期 (2015年４月-６月)		2016年3月期 第2四半期 (2015年7月-9月)	
	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益
連結合計	49,715	1,851	50,851	△460	46,906	1,145	47,020	2,359
書籍ＩＰ事業	19,418	1,705	18,924	1,332	17,515	287	17,921	1,647
情報メディア事業	8,022	△437	7,930	△726	6,491	△615	6,766	△453
映像ＩＰ事業	8,239	817	7,627	169	5,794	259	7,104	382
ポータル事業	4,810	731	4,754	646	4,822	610	5,039	638
ライブ事業	492	△269	699	△189	1,329	△271	1,307	51
モバイル事業	2,540	987	2,426	768	2,313	956	2,212	873
ゲーム事業	4,021	240	3,147	△1,255	3,671	535	2,642	272
その他	3,447	△163	6,172	△162	6,058	136	4,799	26
消去・全社	△1,278	△1,759	△830	△1,043	△1,090	△755	△774	△1,080

売上原価/販売管理費

カドカワ

単位：百万円

	2015年3月期 第1四半期 (2014年10月-12月)	2015年3月期 第2四半期 (2015年1月-3月)	2016年3月期 第1四半期 (2015年４月-６月)	2016年3月期 第2四半期 (2015年7月-9月)
売上原価	35,314	37,367	33,107	32,892
主要項目				
直接費	18,556	18,930	15,881	16,770
人件費	5,339	5,435	5,232	5,273
支払手数料	1,256	1,168	1,352	1,250
著作権等使用料	727	677	681	565
外注費	1,735	2,146	2,525	2,370
通信費	820	844	820	804

	2015年3月期 第1四半期 (2014年10月-12月)	2015年3月期 第2四半期 (2015年1月-3月)	2016年3月期 第1四半期 (2015年４月-６月)	2016年3月期 第2四半期 (2015年7月-9月)
販売管理費	12,548	13,944	12,653	11,768
主要項目				
広宣費及び販促費	3,021	3,382	2,804	2,931
人件費	3,885	4,223	4,202	4,116
支払手数料	1,717	1,253	1,281	1,560

セグメント一覧

カドカワ

2016年第2四半期（2015年7月-9月）

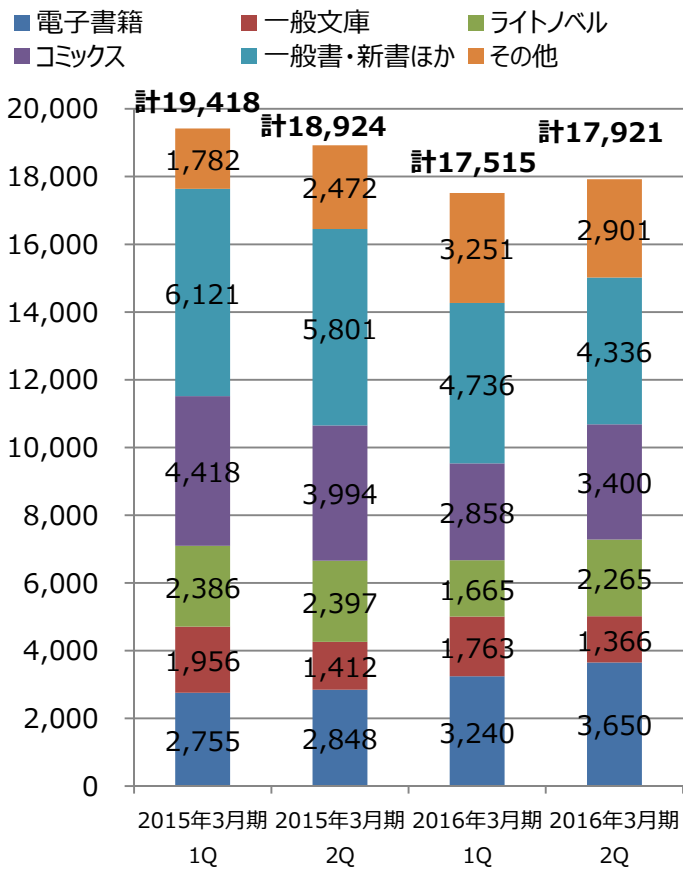
単位：百万円

	書籍ＩＰ	情報メディア	映像ＩＰ	ポータル	ライブ	モバイル	ゲーム	その他	消去または全社	計
売上高	17,921	6,766	7,104	5,039	1,307	2,212	2,642	4,799	△774	47,020
売上原価	12,361	5,689	5,468	2,906	1,075	796	1,731	3,361	△498	32,892
（売上高比）	69.0%	84.1%	77.0%	57.7%	82.3%	36.0%	65.5%	70.0%	-	70.0%
売上総利益	5,560	1,077	1,635	2,132	232	1,415	910	1,438	△275	14,127
（売上高比）	31.0%	15.9%	23.0%	42.3%	17.7%	64.0%	34.5%	30.0%	-	30.0%
販売管理費	3,912	1,530	1,252	1,494	180	542	638	1,411	805	11,768
（売上高比）	21.8%	22.6%	17.6%	29.7%	13.8%	24.5%	24.2%	29.4%	-	25.0%
営業利益	1,647	△453	382	638	51	873	272	26	△1,080	2,359
（売上高比）	9.2%	-	5.4%	12.7%	4.0%	39.5%	10.3%	0.6%	-	5.0%

書籍ＩＰ事業

単位：百万円

	2015年3月期 第1四半期 (2014年10月-12月)	2015年3月期 第2四半期 (2015年1月-3月)	2016年3月期 第1四半期 (2015年４月-６月)	2016年3月期 第2四半期 (2015年7月-9月)
売上高	19,418	18,924	17,515	17,921
売上原価	12,907	12,116	12,000	12,361
売上総利益	6,511	6,808	5,515	5,560
販売管理費	4,805	5,475	5,227	3,912
営業利益	1,705	1,332	287	1,647



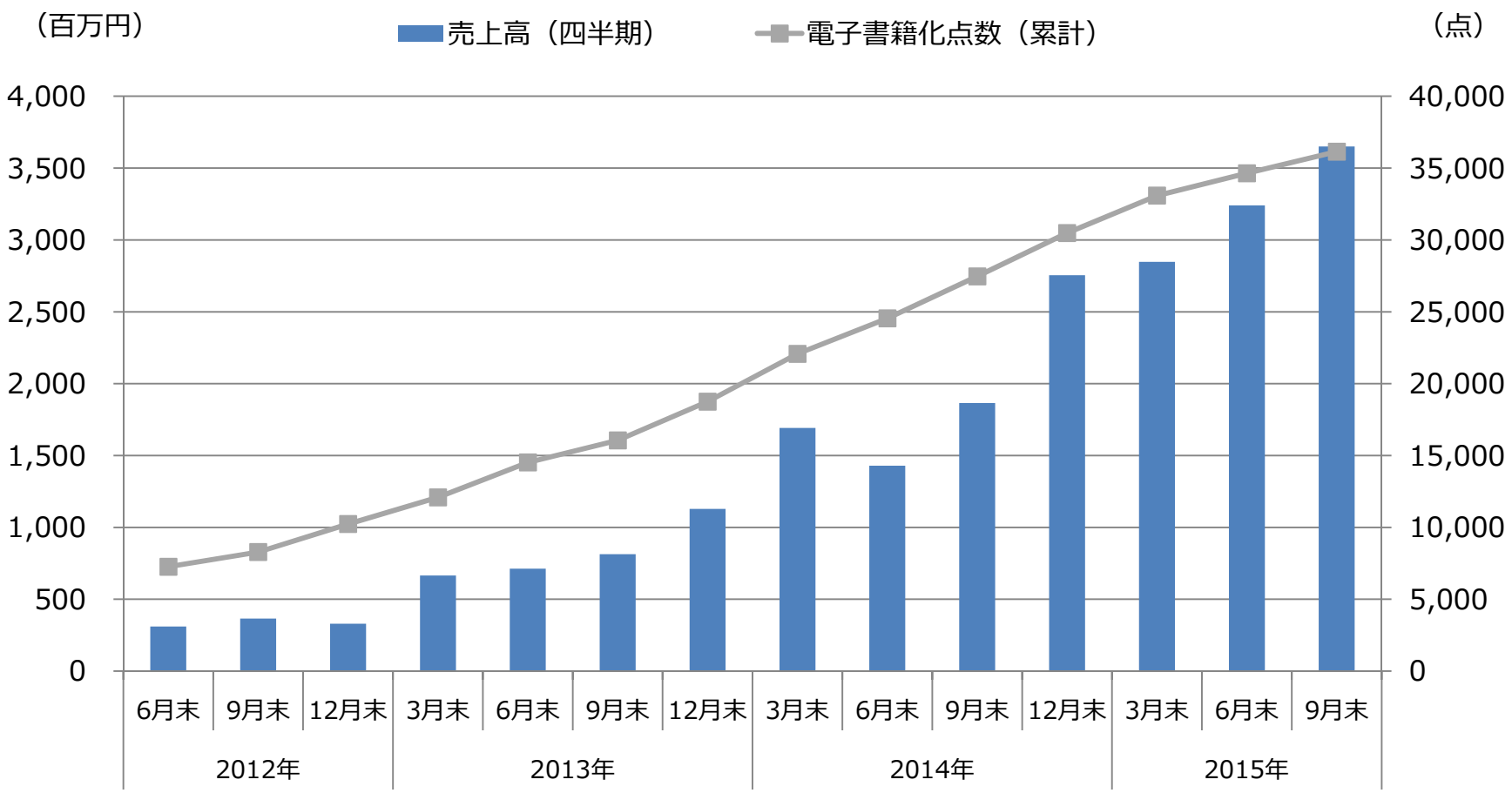
■売上高

一般書（文芸単行本、ゲーム攻略本など）での減収はあったが、電子書籍のさらなる伸張や、ライトノベルの復調で増収となった。

■営業利益

前四半期に貸倒引当金の積み増しで一時的に利益水準が落ちるも、今四半期は電子書籍の伸長及びメディアミックスでのヒット作もあり収益を回復。

電子書籍　四半期売上推移



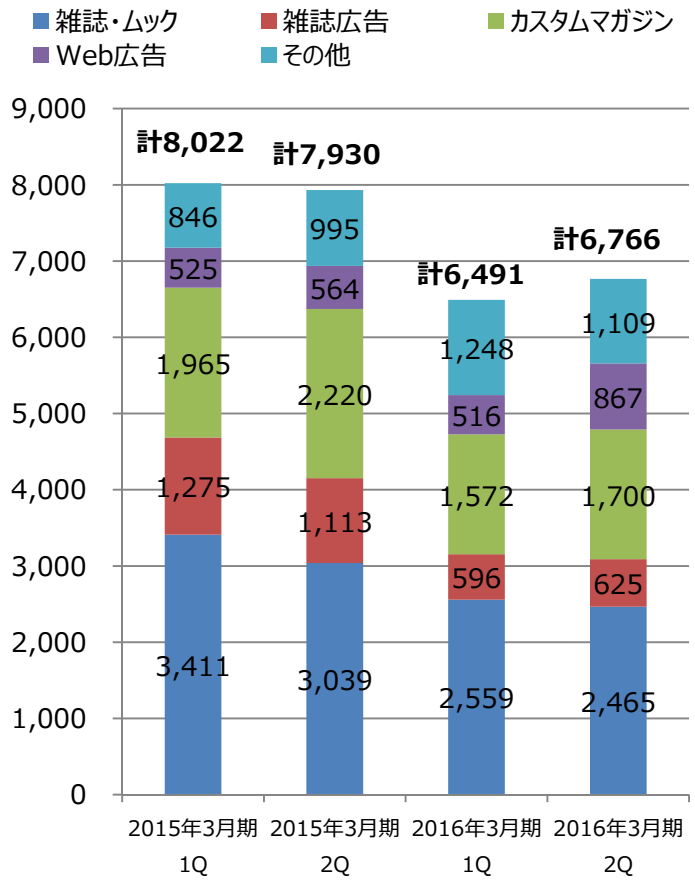
	2012年			2013年				2014年				2015年		
	6月末	9月末	12月末	3月末	6月末	9月末	12月末	3月末	6月末	9月末	12月末	3月末	6月末	9月末
売上高（四半期）	310	365	330	665	713	813	1,129	1,692	1,429	1,865	2,755	2,848	3,240	3,650
電子書籍化点数（累計）	7,259	8,280	10,233	12,089	14,516	16,055	18,751	22,074	24,543	27,467	30,481	33,083	34,642	36,141

※売上高（四半期）は、2014年9月以前はKADOKAWA、2014年10月以降はカドカワの実績となります。

情報メディア事業

単位：百万円

	2015年3月期 第1四半期 (2014年10月-12月)	2015年3月期 第2四半期 (2015年1月-3月)	2016年3月期 第1四半期 (2015年４月-６月)	2016年3月期 第2四半期 (2015年7月-9月)
売上高	8,022	7,930	6,491	6,766
売上原価	6,678	6,662	5,488	5,689
売上総利益	1,343	1,268	1,003	1,077
販売管理費	1,781	1,995	1,618	1,530
営業利益	△437	△726	△615	△453



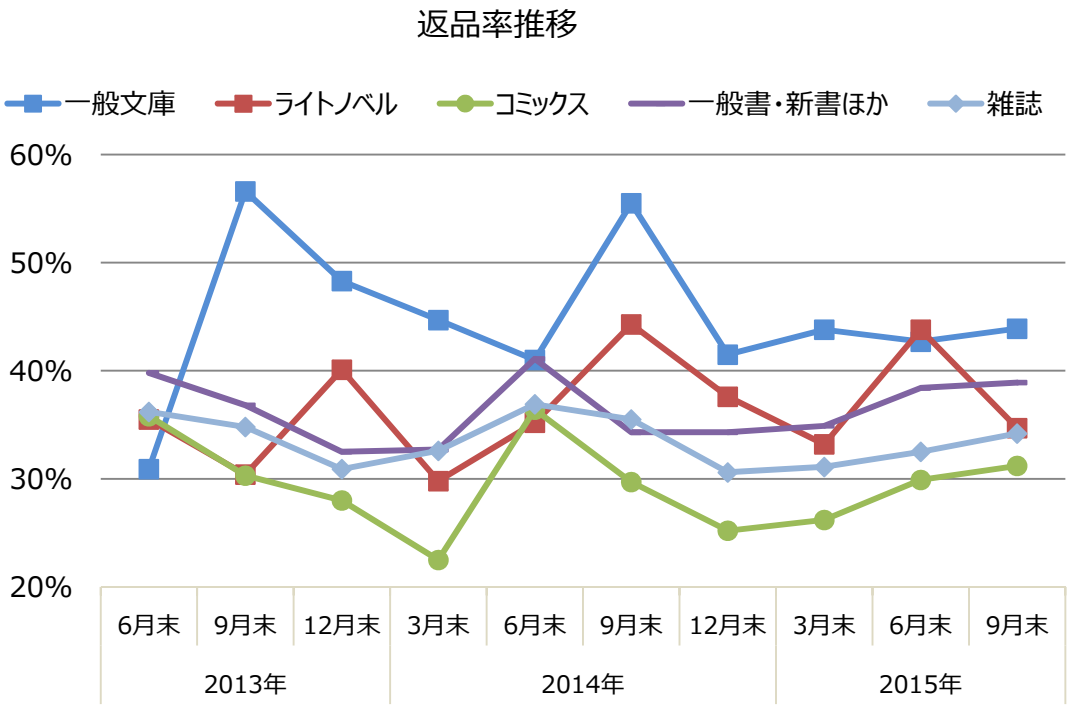
■売上高

既存紙媒体のネット・デジタル化に伴い雑誌販売の収入は減少だがWEB広告売上が増。

■営業利益

雑誌・ムック売上の縮小やパートワーク企画の不振が収益に影響。

書籍／雑誌返品率推移



	当社実績	業界指標
書籍返品率		
2012年度	33.5%	37.5%
2013年度	34.7%	37.6%
2014年度	35.8%	37.5%
2015年度	37.4%	39.7%
雑誌返品率		
2012年度	34.8%	37.9%
2013年度	33.6%	39.6%
2014年度	33.6%	40.2%
2015年度	33.4%	43.0%

※業界指標は(社)全国出版協会　出版科学研究所発行の「出版月報」「出版年鑑」より。2015年度は2015年4月から9月。

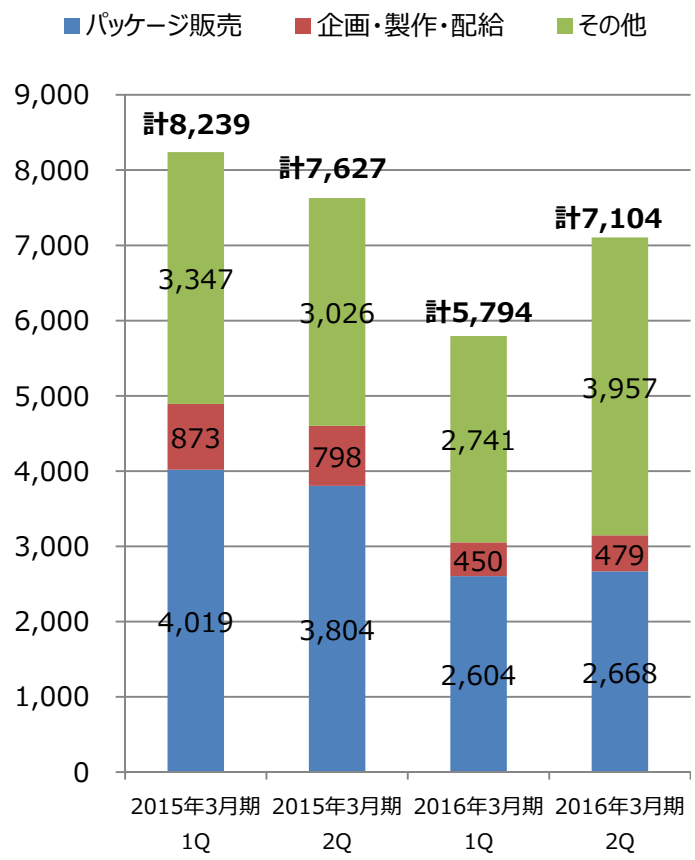
単位：百万円

		2013年			2014年				2015年		
		6月末	9月末	12月末	3月末	6月末	9月末	12月末	3月末	6月末	9月末
一般文庫	売上	2,986	1,355	1,800	1,651	1,926	1,128	1,956	1,412	1,763	1,366
	返品率	30.9%	56.6%	48.3%	44.7%	41.0%	55.5%	41.5%	43.8%	42.7%	43.9%
ライトノベル	売上	2,980	3,337	2,639	3,406	2,992	2,029	2,386	2,397	1,665	2,265
	返品率	35.5%	30.4%	40.1%	29.8%	35.2%	44.3%	37.6%	33.2%	43.8%	34.7%
コミックス	売上	3,518	3,948	4,106	4,870	3,010	3,828	4,418	3,994	2,858	3,400
	返品率	35.8%	30.3%	28.0%	22.5%	36.4%	29.7%	25.2%	26.2%	29.9%	31.2%
一般書・新書ほか	売上	5,280	5,380	6,685	6,411	5,071	5,732	6,121	5,801	4,736	4,336
	返品率	39.8%	36.8%	32.5%	32.7%	41.1%	34.3%	34.3%	34.9%	38.4%	38.9%
雑誌	売上	3,408	3,439	3,974	3,380	3,051	3,054	3,411	3,039	2,559	2,465
	返品率	36.2%	34.8%	30.9%	32.6%	36.9%	35.5%	30.6%	31.1%	32.5%	34.2%

映像ＩＰ事業

単位：百万円

	2015年3月期 第1四半期 (2014年10月-12月)	2015年3月期 第2四半期 (2015年1月-3月)	2016年3月期 第1四半期 (2015年４月-６月)	2016年3月期 第2四半期 (2015年7月-9月)
売上高	8,239	7,627	5,794	7,104
売上原価	6,248	6,197	4,386	5,468
売上総利益	1,991	1,429	1,408	1,635
販売管理費	1,174	1,259	1,148	1,252
営業利益	817	169	259	382



■売上高

映画配給、パッケージ収入は横ばいながら、海外での版権販売などの権利収入が伸び売上が伸長。

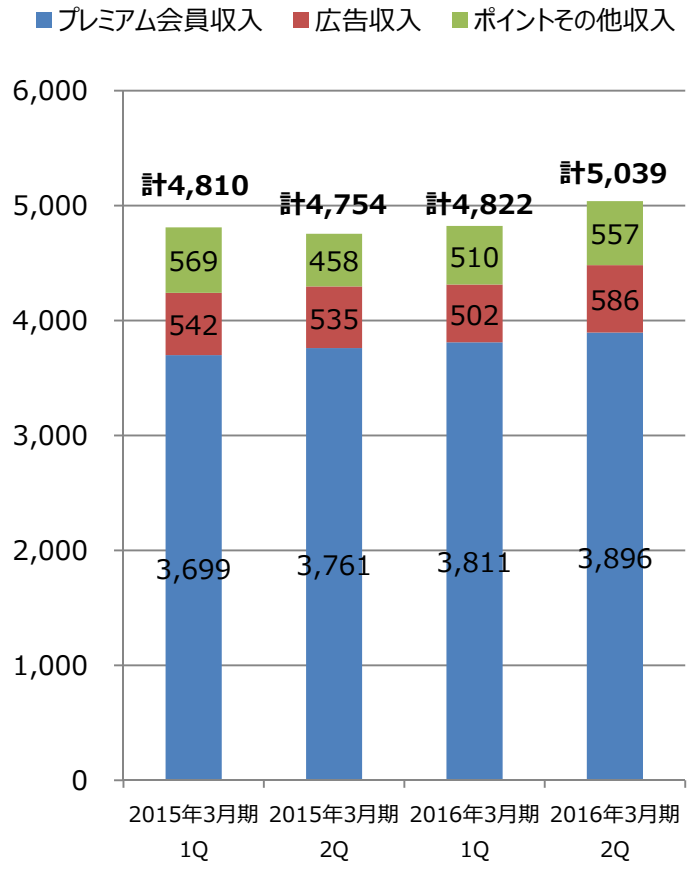
■営業利益

売上高の増加に伴い利益額も増。権利収入の伸びで利益率も上昇。

ポータル事業

単位：百万円

	2015年3月期 第1四半期 (2014年10月-12月)	2015年3月期 第2四半期 (2015年1月-3月)	2016年3月期 第1四半期 (2015年４月-６月)	2016年3月期 第2四半期 (2015年7月-9月)
売上高	4,810	4,754	4,822	5,039
売上原価	2,738	2,761	2,770	2,906
売上総利益	2,072	1,992	2,052	2,132
販売管理費	1,341	1,346	1,442	1,494
営業利益	731	646	610	638



■売上高

プレミアム会員数は2015年9月末で253万人と前四半期より５.2万人の純増。

■営業利益

夏休み向け生放送番組の制作費等が増加。

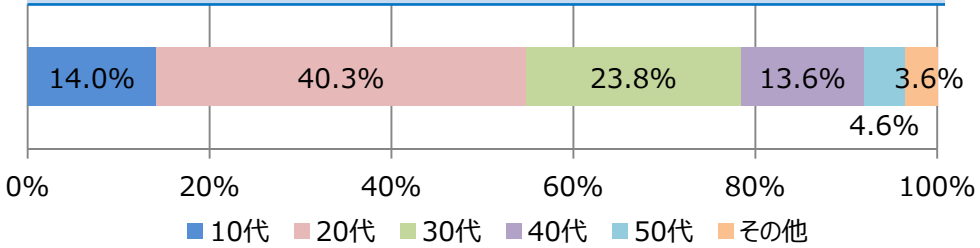
niconicoのユーザ情報と利用状況

カドカワ

niconicoユーザ情報　※2015年9月末	
プレミアム会員数	253万人
ID発行数	5,124万人
男女比	♂66%　♀34%

niconico利用状況　※2015年7-9月の平均値	
MAU（万人）	895
（2015年4-6月の平均値）	(873)
１日当り平均滞在時間（分） ※ユーザー１人当りの延べ滞在時間	109.9
（2015年4-6月の平均値）	(109.0)

年代別シェア　※2015年9月末

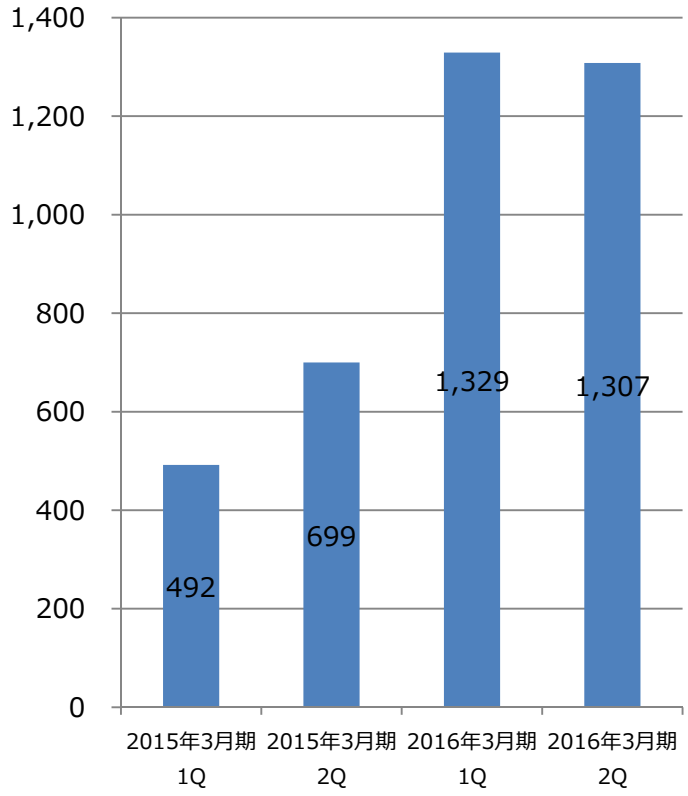


ニコニコ生放送番組例

ライブ事業

単位：百万円

	2015年3月期 第1四半期 (2014年10月-12月)	2015年3月期 第2四半期 (2015年1月-3月)	2016年3月期 第1四半期 (2015年４月-６月)	2016年3月期 第2四半期 (2015年7月-9月)
売上高	492	699	1,329	1,307
売上原価	633	714	1,383	1,075
売上総利益	△140	△15	△54	232
販売管理費	129	174	216	180
営業利益	△269	△189	△271	51



■売上高

アニメロサマーライブを開催、3日間で8万1千人を動員。

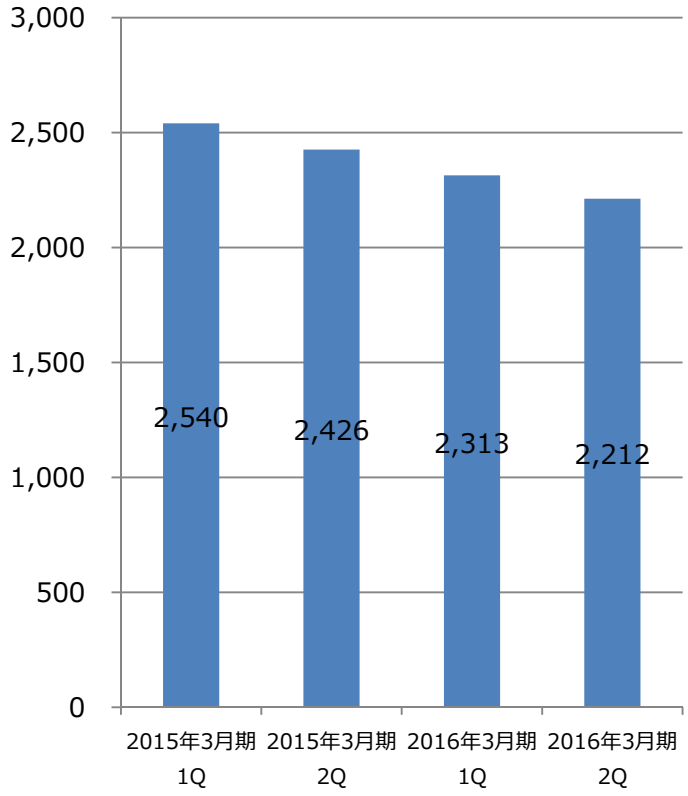
■営業利益

アニメロサマーライブが収益に大きく貢献。

モバイル事業

単位：百万円

	2015年3月期 第1四半期 (2014年10月-12月)	2015年3月期 第2四半期 (2015年1月-3月)	2016年3月期 第1四半期 (2015年４月-６月)	2016年3月期 第2四半期 (2015年7月-9月)
売上高	2,540	2,426	2,313	2,212
売上原価	926	898	808	796
売上総利益	1,613	1,527	1,505	1,415
販売管理費	626	759	548	542
営業利益	987	768	956	873



■売上高

スマートフォン・フィーチャーフォン共に会員数の減少幅は前四半期比で縮小。

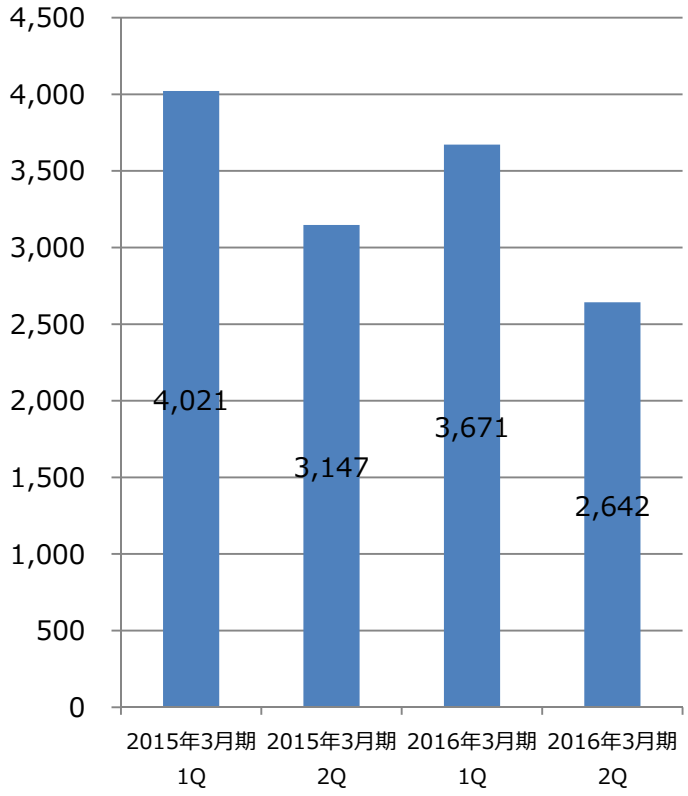
■営業利益

広告宣伝費を中心に全般的なコスト抑制するも、売上高減少により営業利益は微減。

ゲーム事業

単位：百万円

	2015年3月期 第1四半期 (2014年10月-12月)	2015年3月期 第2四半期 (2015年1月-3月)	2016年3月期 第1四半期 (2015年４月-６月)	2016年3月期 第2四半期 (2015年7月-9月)
売上高	4,021	3,147	3,671	2,642
売上原価	3,041	3,626	2,448	1,731
売上総利益	980	△478	1,223	910
販売管理費	739	777	687	638
営業利益	240	△1,255	535	272



■売上高

大型パッケージタイトルの発売がなく、売上高は大幅に減収。

■営業利益

小粒のタイトルながら利益を積み上げ、一定の利益は確保。

2. 通期予想（セグメント別）

セグメント別の通期予想も据え置き。

	2015年3月期通期 実績 (2014年10月-2015年3月)		2016年3月期上期 実績 (2015年4月-2015年9月)		2016年3月期通期 予想 (2015年4月-2016年3月)	
	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益
連結合計	100,566	1,391	93,926	3,505	200,500	7,000
書籍ＩＰ事業	38,343	3,038	35,437	1,935	70,000	4,900
情報メディア事業	15,953	△1,164	13,257	△1,068	34,200	△1,200
映像ＩＰ事業	15,866	987	12,899	642	28,500	1,300
ポータル事業	9,565	1,377	9,861	1,248	21,000	2,100
ライブ事業	1,191	△459	2,636	△219	3,500	△1,000
モバイル事業	4,966	1,756	4,526	1,829	7,900	2,600
ゲーム事業	7,169	△1,015	6,314	808	18,200	2,500
その他	9,620	△326	10,858	163	20,500	800
消去・全社	△2,109	△2,803	△1,864	△1,836	△3,300	△5,000

要約貸借対照表、要約キャッシュ・フロー計算書

カドカワ

単位：百万円

	2015年3月期 通期	構成比	2016年3月期 第2四半期	構成比
流動資産	131,200	63.8%	114,779	60.3%
固定資産	74,473	36.2%	75,723	39.7%
有形固定資産	36,350	17.7%	35,836	18.8%
無形固定資産	5,997	2.9%	6,463	3.4%
投資その他の資産	32,124	15.6%	33,423	17.5%
総資産	205,673	100.0%	190,503	100.0%
流動負債	63,316	30.8%	51,756	27.2%
固定負債	38,108	18.5%	37,181	19.5%
株主資本	101,946	49.6%	98,489	51.7%
純資産合計	104,248	50.7%	101,565	53.3%
負債純資産合計	205,673	100.0%	190,503	100.0%

	2016年3月期 第2四半期
営業活動によるキャッシュ・フロー	△3,524
投資活動によるキャッシュ・フロー	△5,816
財務活動によるキャッシュ・フロー	△6,832
現金及び現金同等物の四半期末残高	43,080

- 当資料に含まれる業績予想等の将来数値につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき当社グループで判断したものです。
- 将来数値はさまざまな不確定要素が内在しており、実際の業績はこれらの数値と異なる場合がありますので、この数値に全面的に依拠して投資等の判断を行うことは差し控えてください。